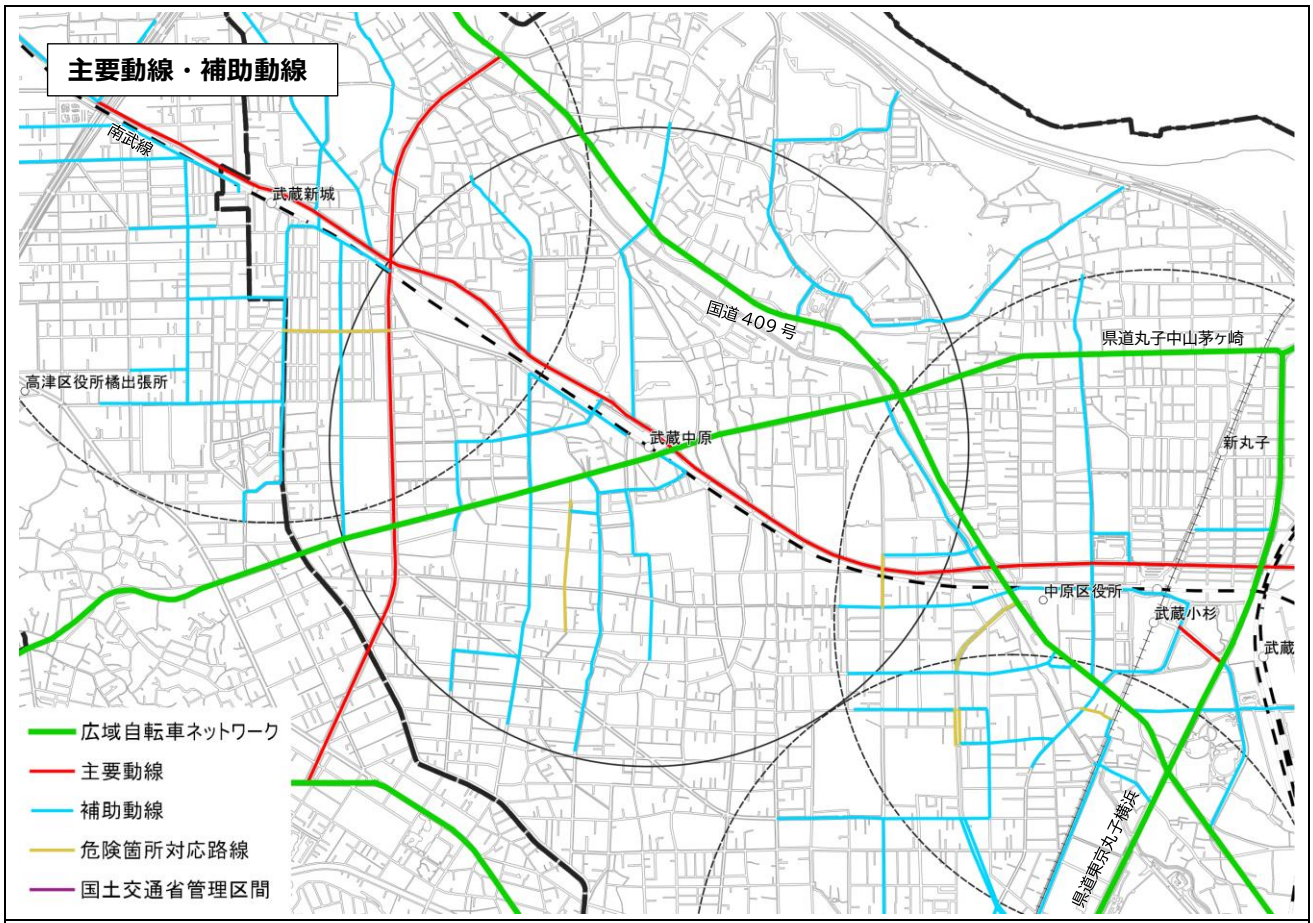
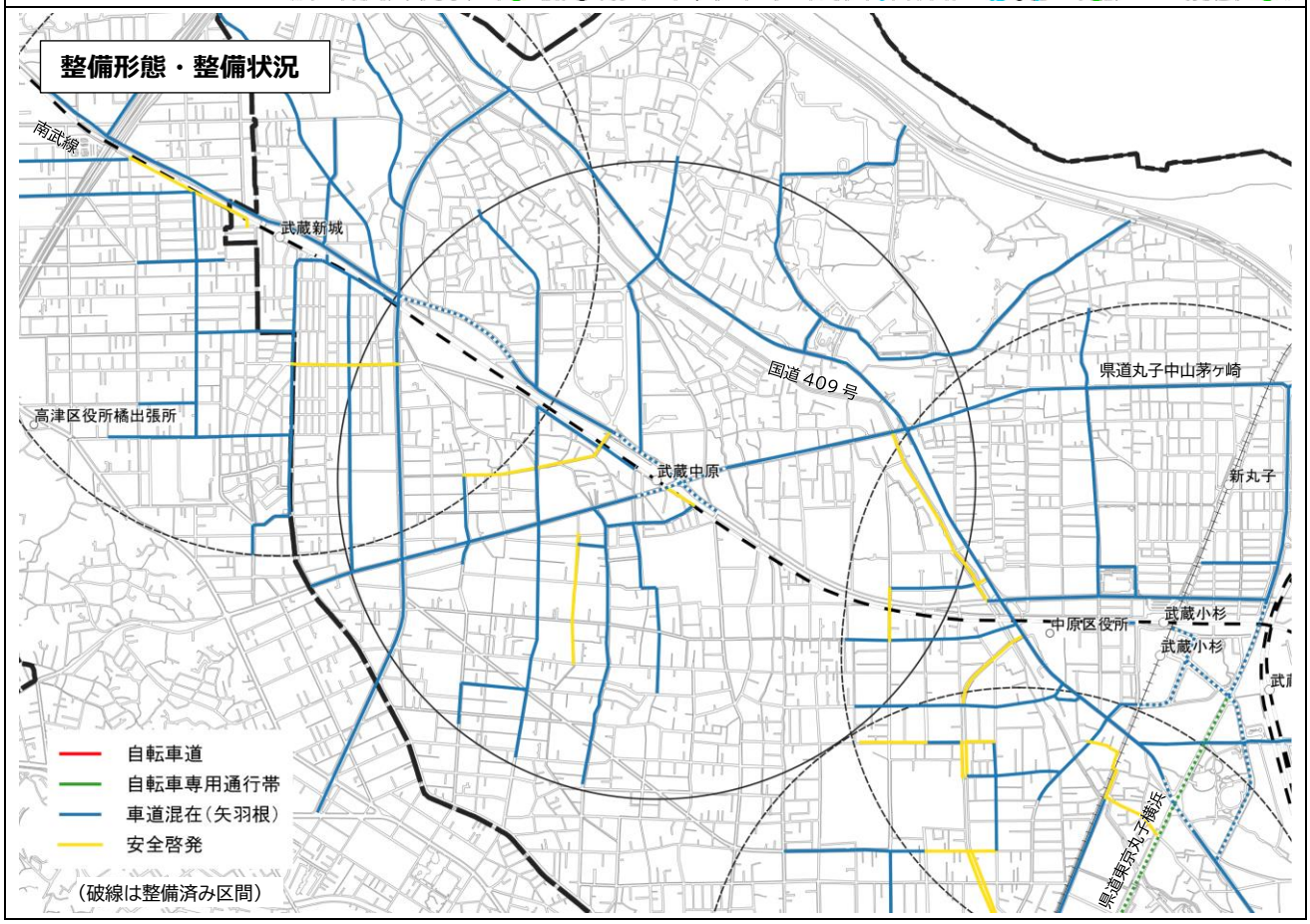
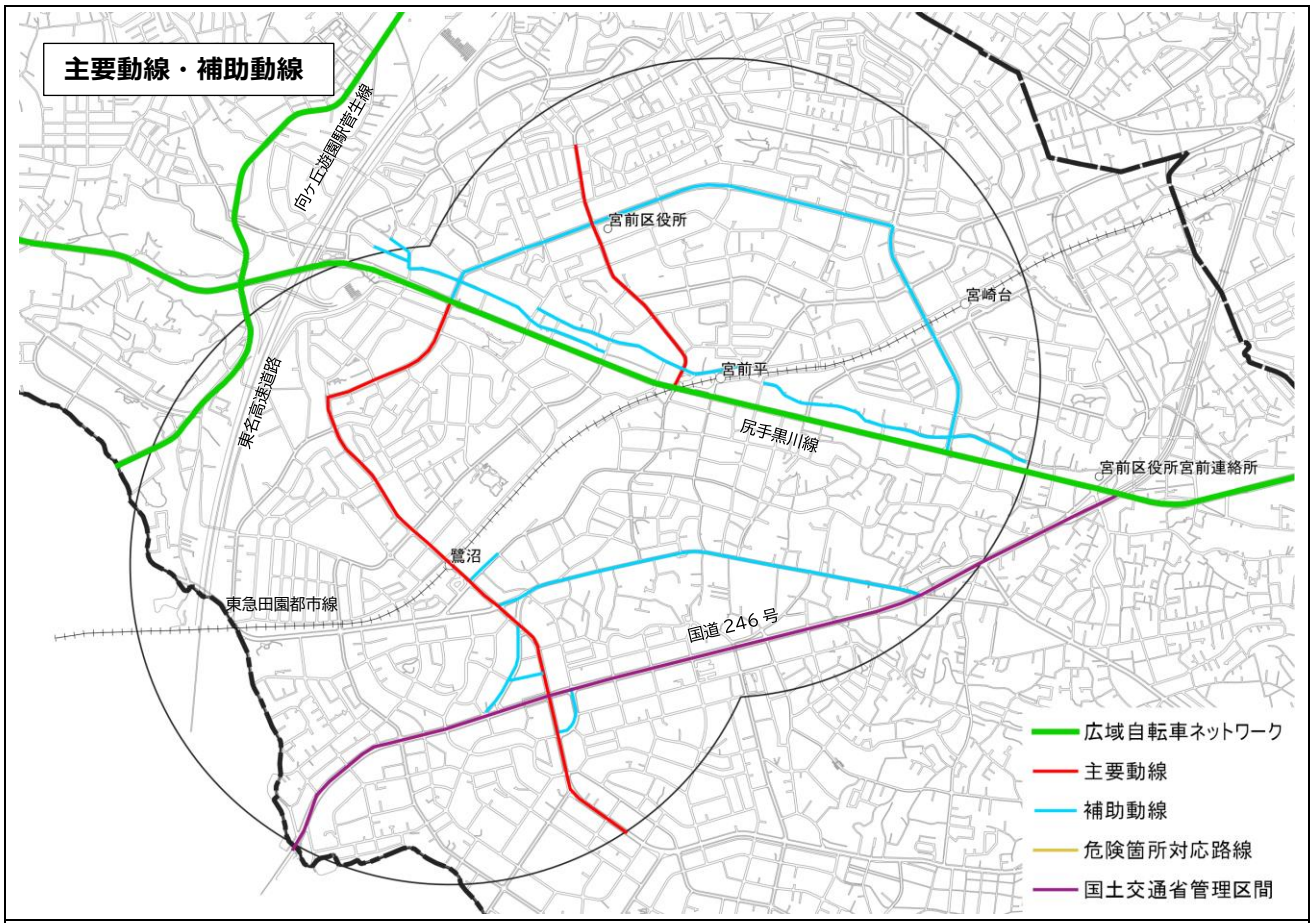
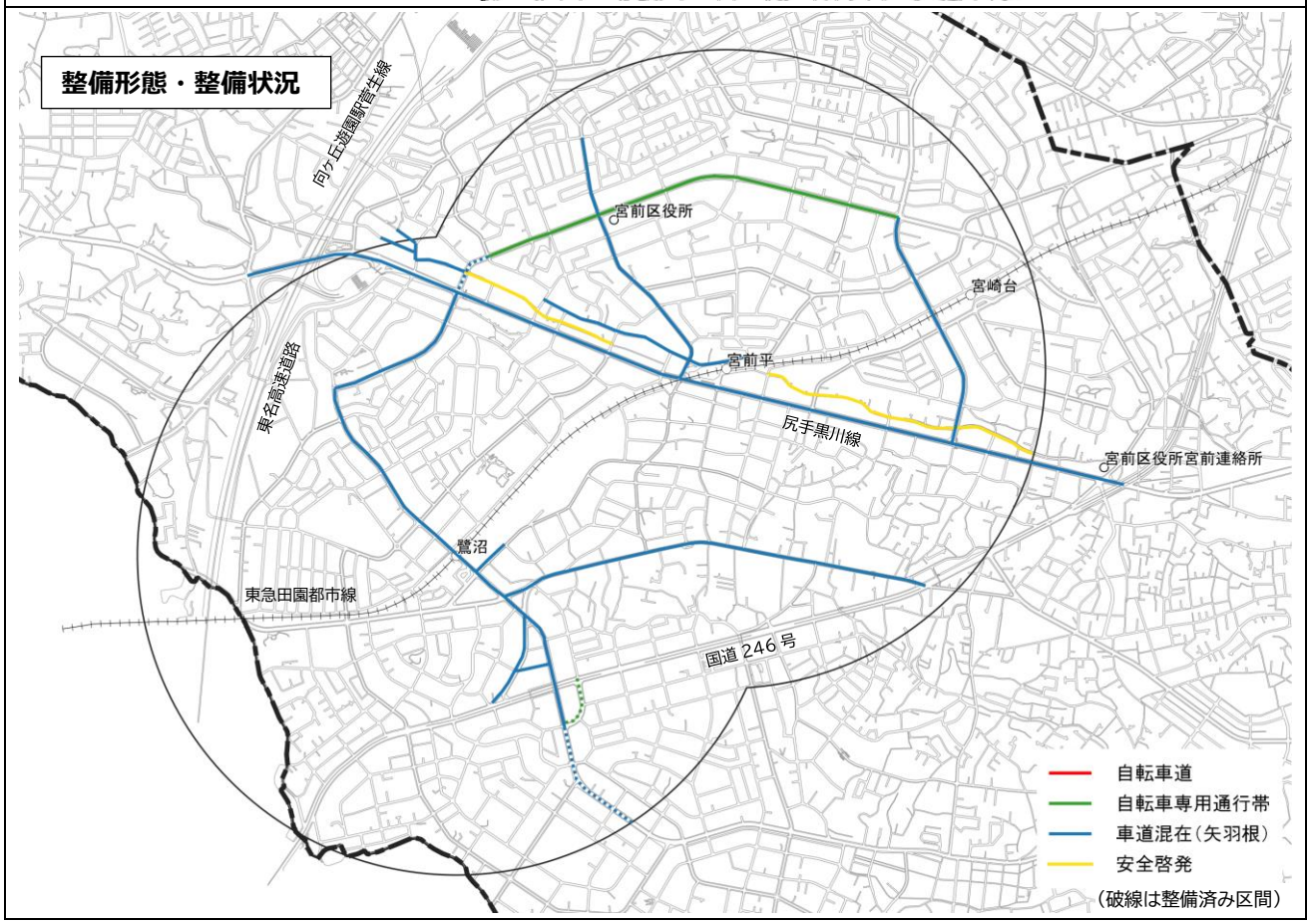
優先７　武蔵中原


主要動線・補助動線
南武線
武蔵新城
国道409号
県道丸子中山茅ヶ崎
高津区役所橘出張所
武蔵中原
新丸子
中原区役所
武蔵小杉
武蔵
県道東京丸子横浜
広域自転車ネットワーク
主要動線
補助動線
危険箇所対応路線
国土交通省管理区間

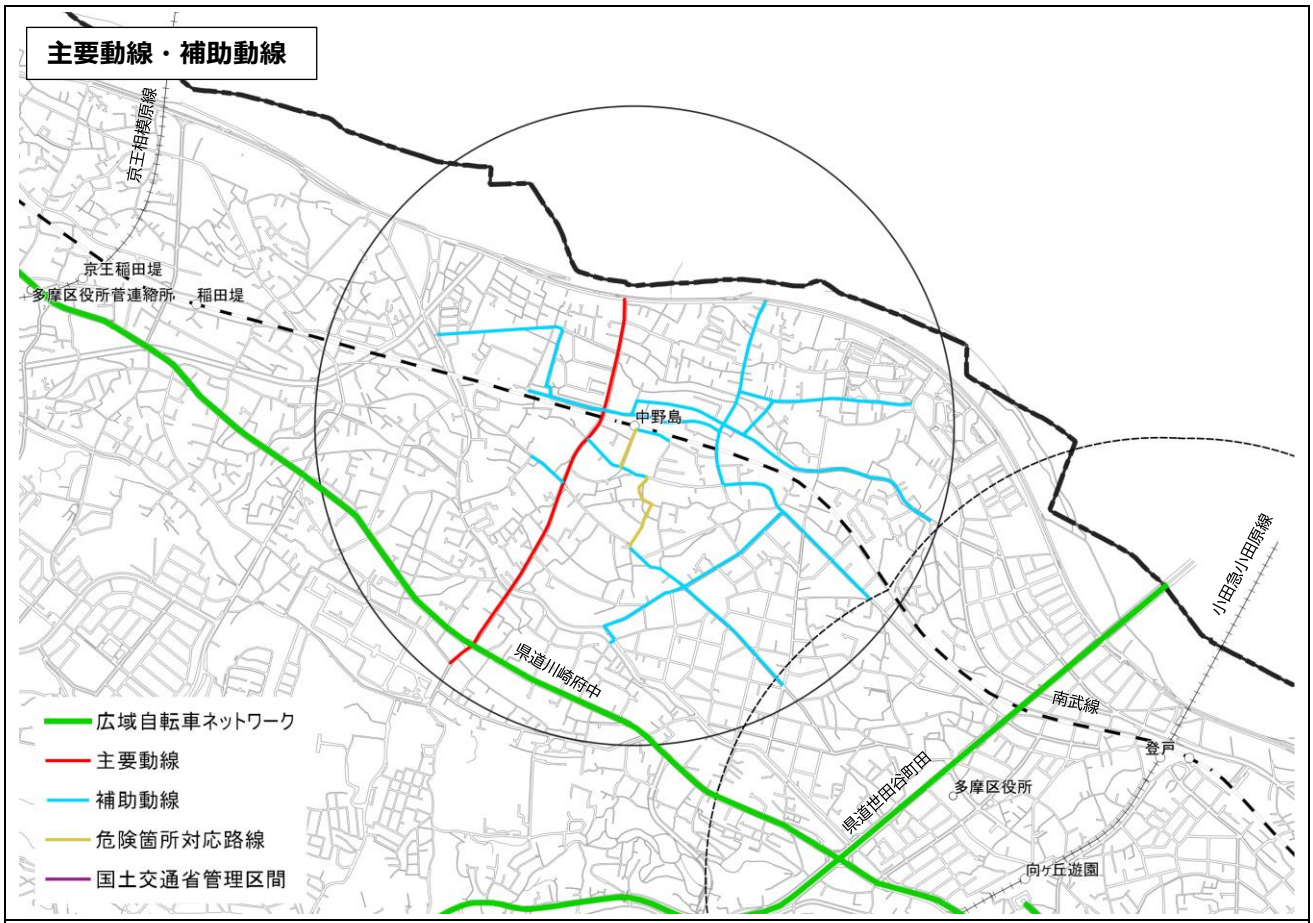

整備形態・整備状況
南武線
武蔵新城
国道409号
県道丸子中山茅ヶ崎
高津区役所橘出張所
武蔵中原
新丸子
中原区役所
武蔵小杉
武蔵小杉
県道東京丸子横浜
自転車道
自転車専用通行帯
車道混在（矢羽根）
安全啓発
（破線は整備済み区間）

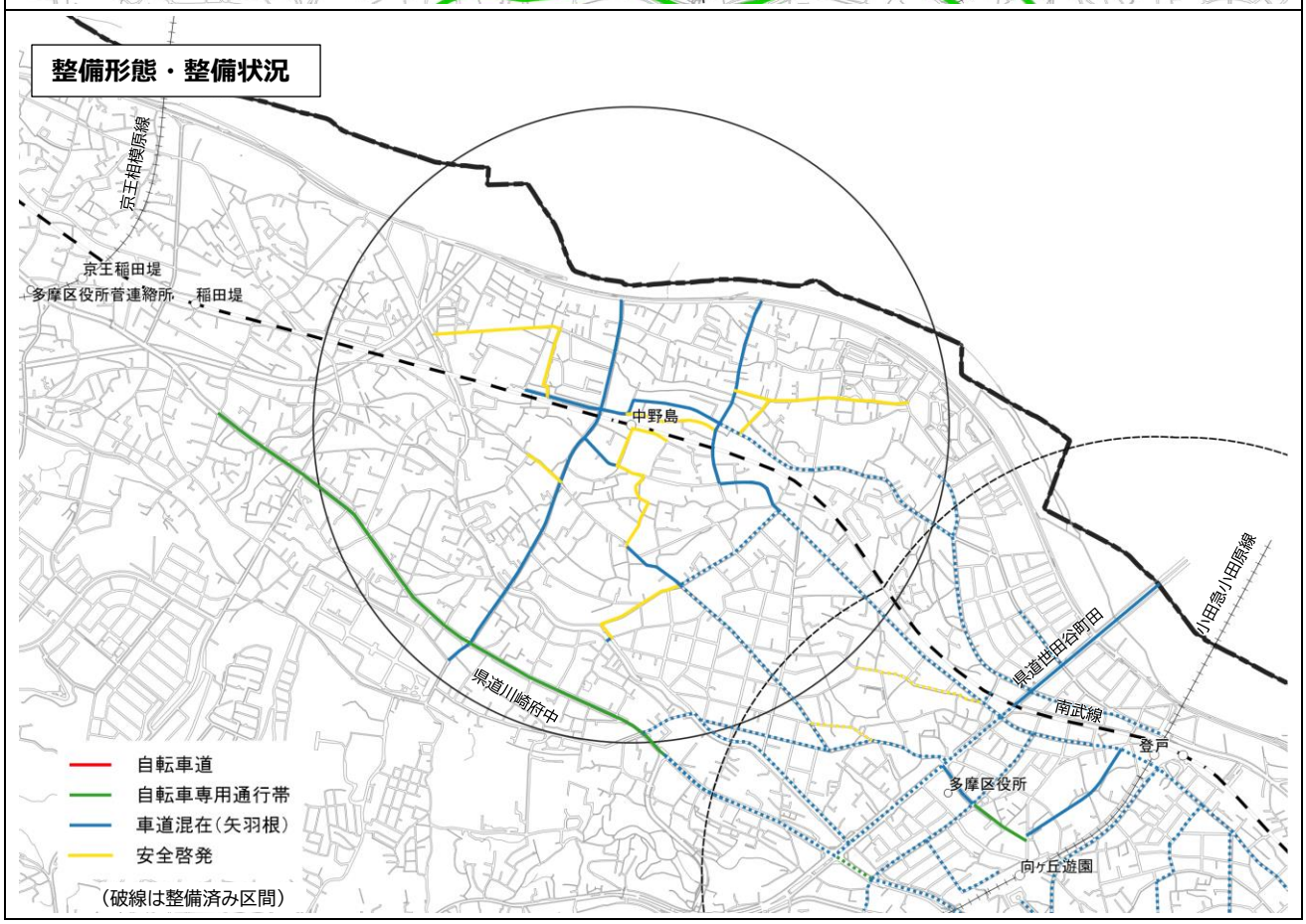
優先８　鷺沼・宮前平


主要動線・補助動線
向ヶ丘遊園駅菅生線
宮前区役所
宮崎台
宮前平
東名高速道路
尻手黒川線
宮前区役所宮前連絡所
鷺沼
東急田園都市線
国道 246 号
広域自転車ネットワーク
主要動線
補助動線
危険箇所対応路線
国土交通省管理区間

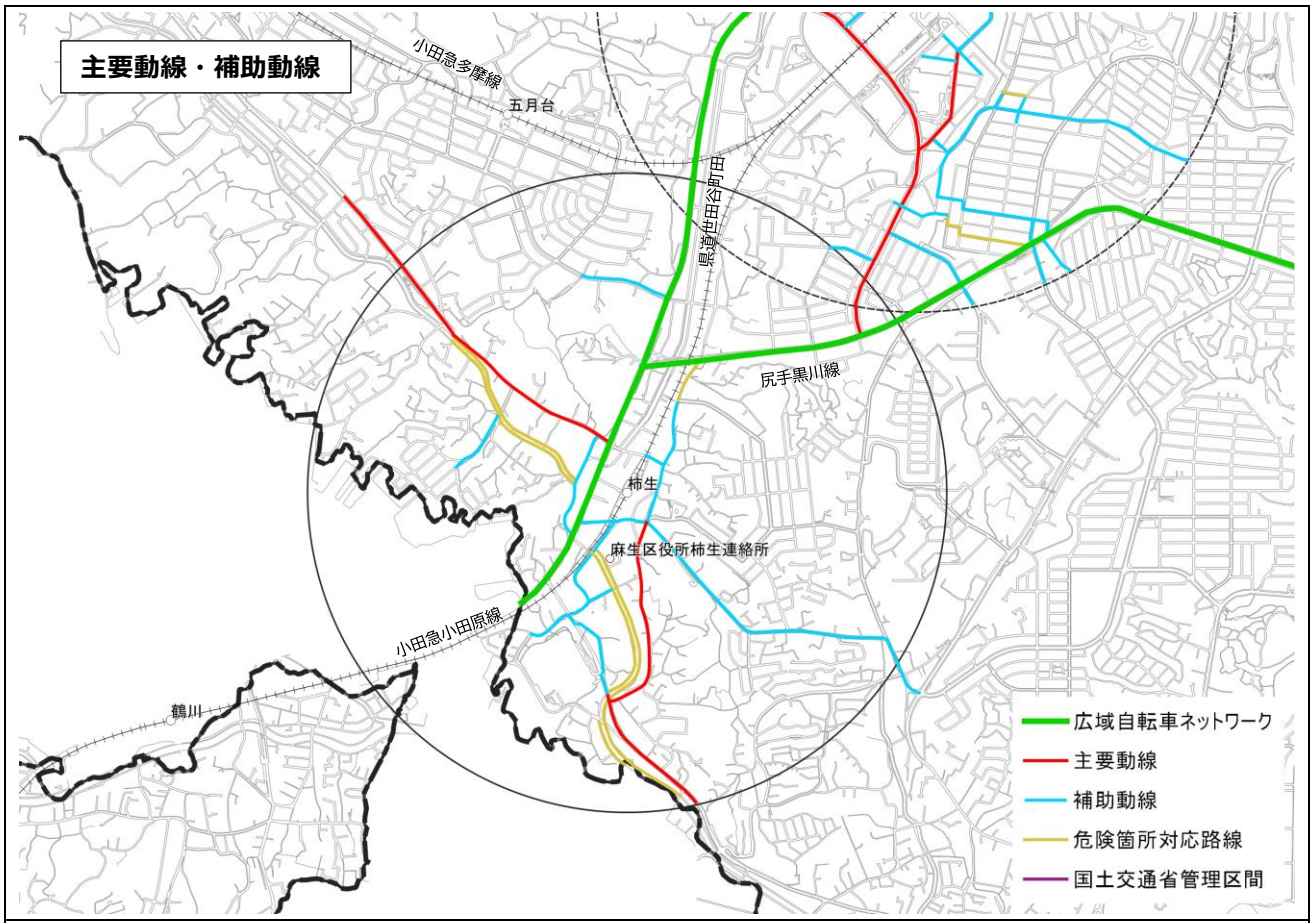

整備形態・整備状況
向ヶ丘遊園駅菅生線
宮前区役所
宮崎台
宮前平
東名高速道路
尻手黒川線
宮前区役所宮前連絡所
鷺沼
東急田園都市線
国道 246 号
自転車道
自転車専用通行帯
車道混在（矢羽根）
安全啓発
（破線は整備済み区間）

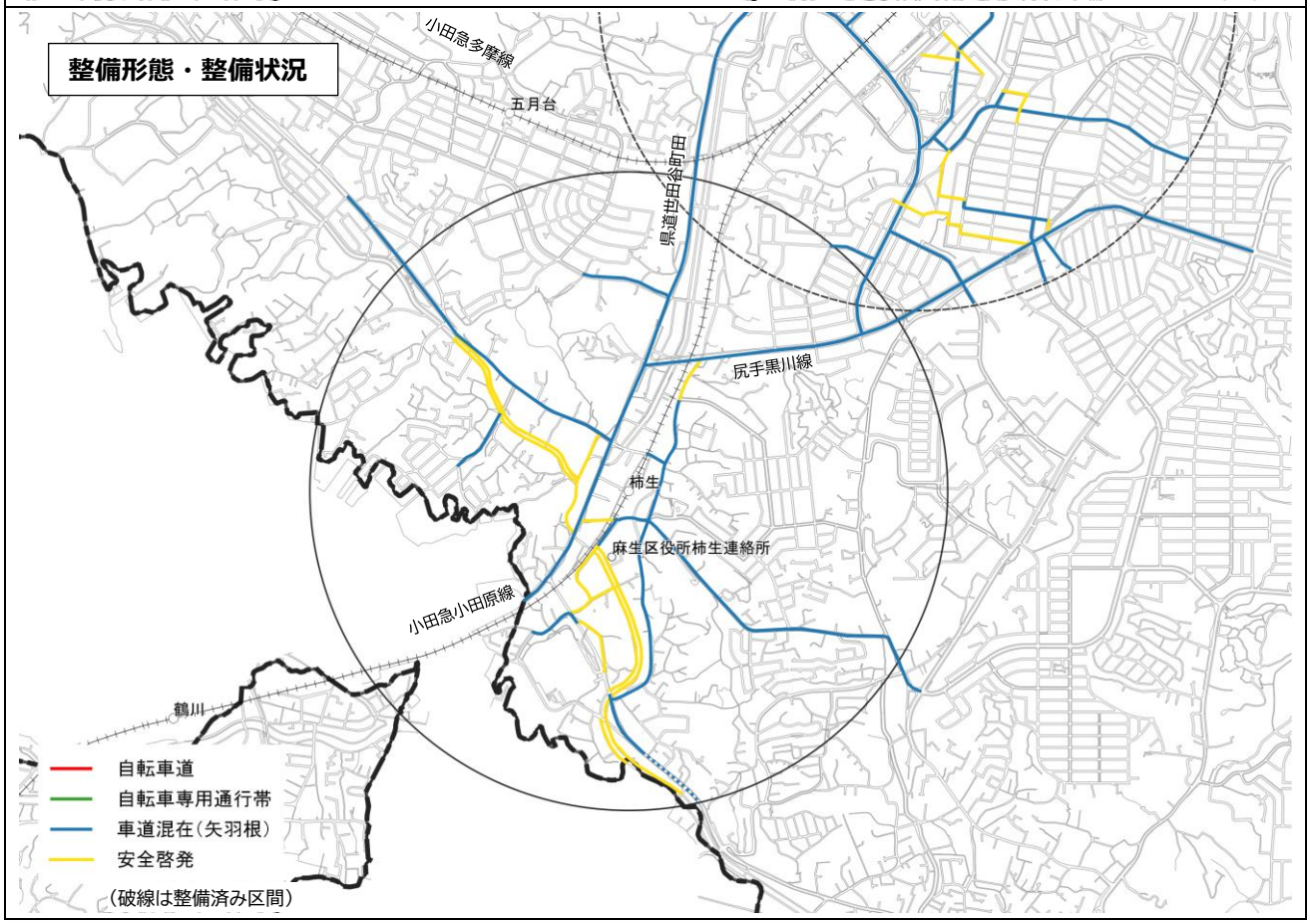
優先９　中野島


主要動線・補助動線
京王相模原線
京王稲田堤
多摩区役所菅連絡所
稲田堤
中野島
県道川崎府中
県道世田谷町田
南武線
登戸
多摩区役所
向ヶ丘遊園
小田急小田原線
広域自転車ネットワーク
主要動線
補助動線
危険箇所対応路線
国土交通省管理区間


整備形態・整備状況
京王相模原線
京王稲田堤
多摩区役所菅連絡所
稲田堤
中野島
県道川崎府中
県道世田谷町田
南武線
登戸
多摩区役所
向ヶ丘遊園
小田急小田原線
自転車道
自転車専用通行帯
車道混在（矢羽根）
安全啓発
（破線は整備済み区間）

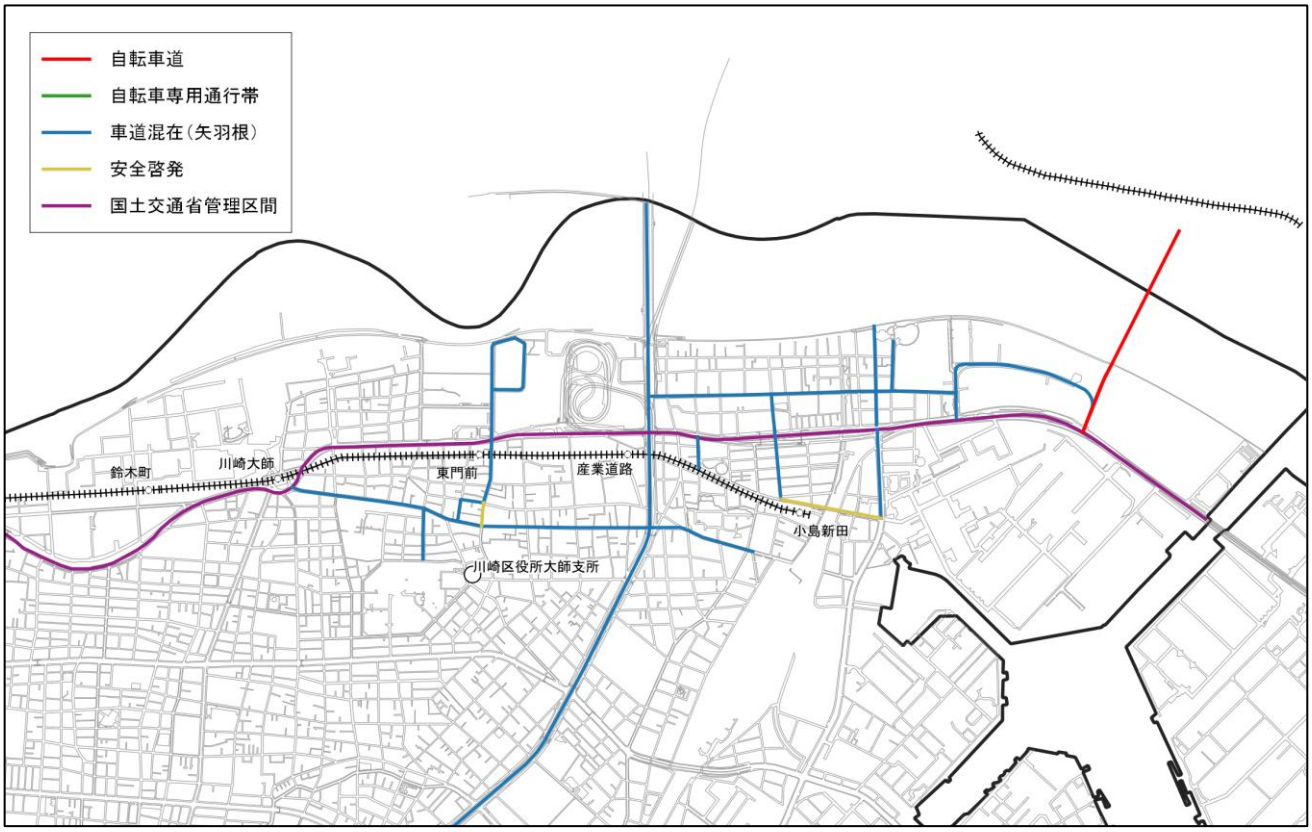
優先 10　柿生


主要動線・補助動線
小田急多摩線
五月台
県道世田谷町田
尻手黒川線
柿生
麻生区役所柿生連絡所
小田急小田原線
鶴川
広域自転車ネットワーク
主要動線
補助動線
危険箇所対応路線
国土交通省管理区間

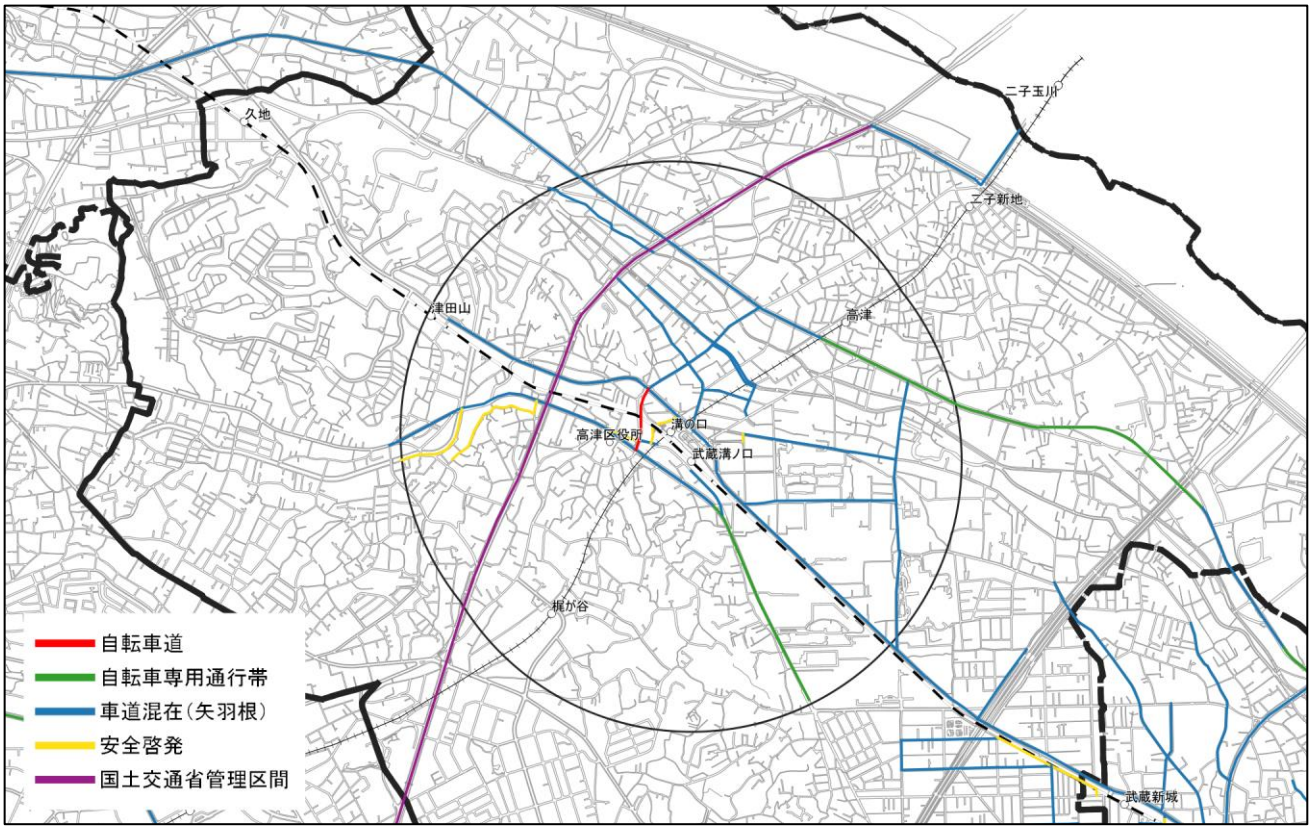

整備形態・整備状況
小田急多摩線
五月台
県道世田谷町田
尻手黒川線
柿生
麻生区役所柿生連絡所
小田急小田原線
鶴川
自転車道
自転車専用通行帯
車道混在（矢羽根）
安全啓発
（破線は整備済み区間）

第Ⅰ期整備箇所図

川崎区殿町周辺



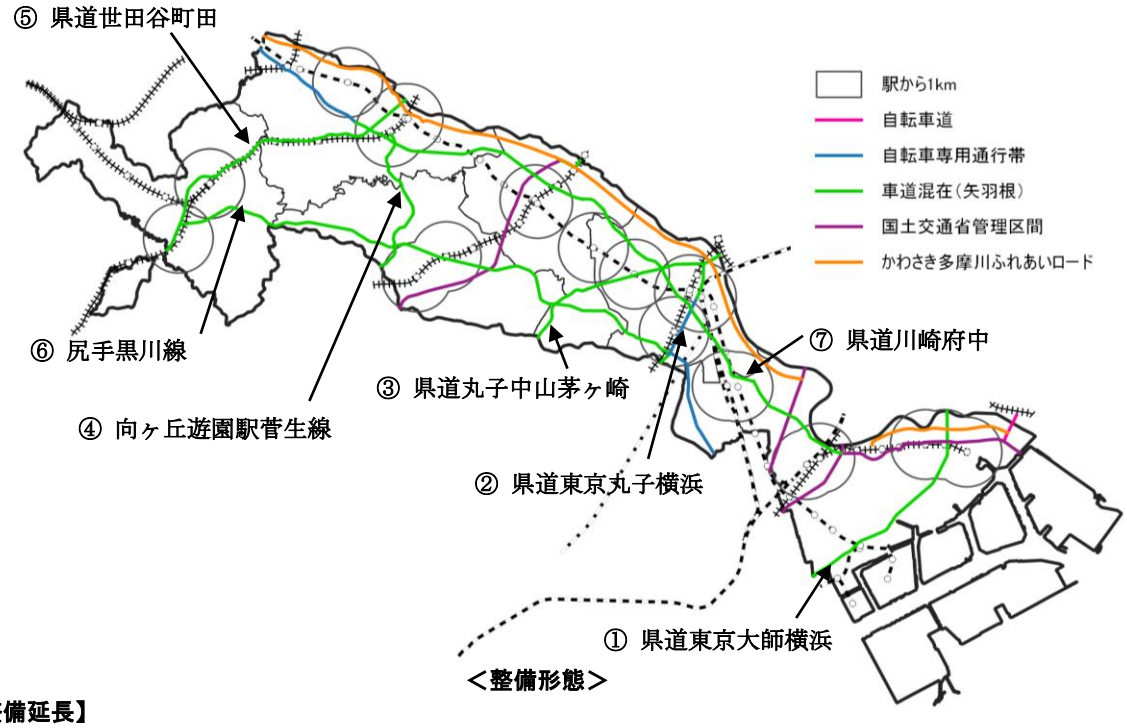
武蔵溝ノ口・溝の口駅周辺



登戸向ヶ丘遊園駅周辺

(3) 広域的な自転車ネットワークの構築（施策 1-1-3）

- 広域拠点や地域生活拠点等の駅周辺や近隣都市を結ぶ主要な幹線道路を広域自転車ネットワーク路線として、次の図に示す７路線（国土交通省管理区間は除く）の整備を行います。
- 幹線道路の交差点部において自転車関連事故が多いことから、交差点部を「危険箇所」に位置付け、最優先に整備を進めます。（令和４(2022)年度）
- 選定路線のうち、自転車利用の多い駅周辺の概ね１ｋｍ圏内ついては、主要動線の整備と同様、優先的に整備を行います。（令和４(2022)、５(2023)年度）
- 上記以外については、市域を縦断する路線及び優先度の高い駅周辺につながる路線を優先し、順次、整備を進めます。（令和６(2024)、７(2025)年度）
- その他、幹線道路の拡幅整備や無電柱化などの機会を捉えて、自転車通行環境の確保に向けた取組を進めます。



＜整備形態＞

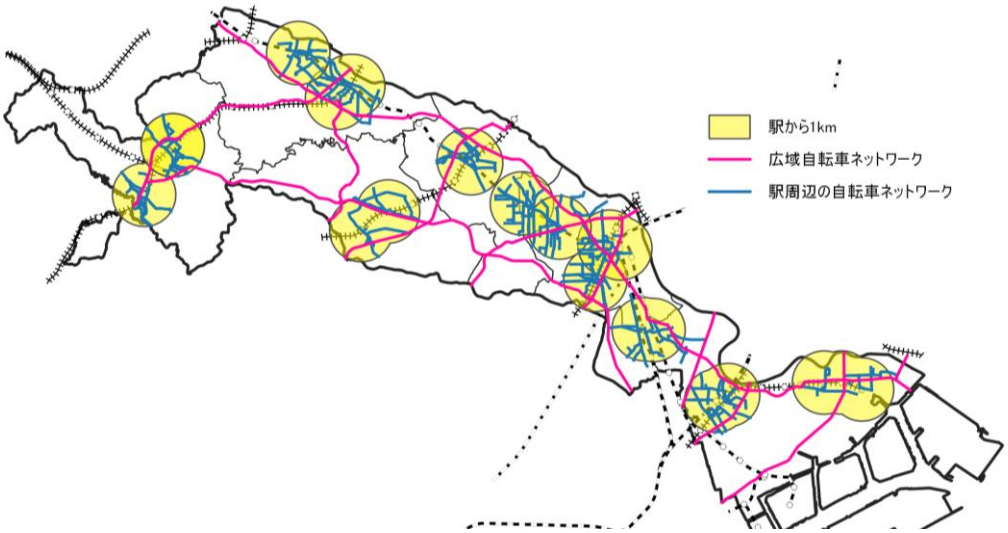
【整備延長】

	路線名	延長 (km)	整備済み (km)	令和４(2022)~ ７(2025)年度 (km)
①	県道東京大師横浜	6.6	0	6.6
②	県道東京丸子横浜	3.3	2.1	1.2
③	県道丸子中山茅ヶ崎	5.7	0.9	4.8
④	向ヶ丘遊園駅菅生線	4.6	1.1	3.5
⑤	県道世田谷町田	8.9	1.6	7.3
⑥	尻手黒川線	22.8	1.2	21.6
⑦	県道川崎府中	21.9	9.4	12.5
合計		73.8	16.3	57.5

2　整備の進め方

- 当初計画の精査により、計画延長が約 213 kmから約 216 kmとなりました。
- 「危険箇所の安全対策」については、安全性を早期に向上させる必要があるため、最優先に整備を進めます。（令和４(2022)～６(2024)年度）
- 「自転車利用の多い駅周辺の通行環境整備」については、特に自転車利用の多い幹線道路において、歩行者と自転車等の輻輳による危険があることから、安全性を早期に向上させる必要があるため、「主要動線」については、危険箇所と同様、最優先に整備を進めるとともに（令和４(2022)、５(2023)年度）、「補助動線」については、「主要動線」の整備完了後、順次、整備を進めます。（令和５(2023)年度以降）
- 「広域自転車ネットワーク」については、交差点部を「危険箇所」に位置付け、最優先に整備を進めるとともに（令和４(2022)年度）、交差点部以外の単路部については、交差点部の整備完了後、順次、整備を進めます。（令和６(2024)、７(2025)年度）
- 上記により、令和４(2022)年度から令和７(2025)年度までに危険箇所 398 箇所、主要な幹線道路約 58km、自転車利用の多い駅周辺の道路約 65km の整備を進めます。

	危険箇所	広域的な自転車ネットワーク		駅周辺の自転車ネットワーク			その他※	合計
		駅周辺以外	駅周辺 (概ね1km圏内)	主要動線	補助動線	危険箇所 対応路線		
R3（2021）まで		4.7km	11.6km	42.1km			3.6km	62.0km
R4（2022）	161箇所		12.7km	15.8km				28.5km
R5（2023）	162箇所		7.0km	6.6km	14.6km	6.4km		34.6km
R6（2024）	75箇所	18.9km			10.8km			29.7km
R7（2025）		18.9km			10.8km			29.7km
R4(2022)~ R7(2025)		37.8km	19.7km	22.4km	36.2km	6.4km	1.5km	124.0km
		57.5km		65.0km				
R7（2025）まで		73.8km		107.1km			5.1km	186.0km
R8（2026）以降					30.3km			30.3km
合計	398箇所	73.8km		137.4km			5.1km	216.3km

※　主要な幹線道路・自転車利用の多い駅周辺の道路以外の通行環境整備延長

⇒　これらにより、令和７(2025)年度末で自転車ネットワークの構築に向けた取組が概ね完成